



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済：石油・天然ガス関連（3月26日～4月10日）

1. イランLNG会社による対EU訴訟（3月26日付メフル通信）

イランLNG会社（ILC）は、2012年に同社がEUによって一方的かつ不合理に制裁対象に加えられたことを不服とし、EUを相手取り国際法廷に訴訟を申し立てたと、3月26日に文書にて公表した。専門家は、EUはまもなく、ILCを制裁対象から外すだろうと予測している。

2. インドによるイラン産原油購入と保険のための特別基金（3月26日付メフル通信）

インドのモイリー石油・天然ガス大臣は、インドは今後もイラン産原油を購入し続けると強調、イラン産原油の輸入に必要な保険のための特別基金を創出する計画を明らかにした。

3. サウス・パールス・ガス田の操業（4月1日付メフル通信）

ガーセミー石油大臣は、サウス・パールス・ガス田（SP）のフェーズ12、15、16について、本年〔ヒジュラ太陽暦1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）〕までに操業する見込みであると発表した。SPは、カタールと共有する総面積9,700平方キロメートルに上る世界最大のガス田であり、イラン側の面積は3,700平方キロメートルである。また、ガーセミー石油大臣は、ペルシャ湾スター製油所（バンダレ・アッバースに建設中）も、本年中に操業すると述べた。

4. トルコとの金・天然ガス取引再開（4月3日付メフル通信）

イランとトルコは、2013年1月に停止していた金と天然ガスの取引を2月に再開し、トルコから約1億2,000万米ドルの金を、イランからのガス代金として輸出したと英国の通信社が報じた。トルコ統計局（TUIK）のデータによると、トルコは2月6日から実施された米国によるイランの石油収入に対する制裁を恐れ、1月にはイラン向けの金輸出を停止していた。

5. インドのイラン産原油輸入とエネルギー保険基金設立（4月3日付メフル通信）

インドは、イラン産原油の輸入を安定的に継続するため、20億ルピー（4億米ドル）のエネルギー保険基金（EIP）の設立を検討中である。インド政府筋によると、インド保険会社が再保険のための同基金を1カ月以内に設立することをインド財務省金融サービス部が提案した。基金に参加する保険会社の第一候補としては、国営のOriental Insurance CompanyとNew India Assurance Companyの名前が挙がっている。

6. イランの原油輸出量（4月6日付ケイハーン・インターナショナル紙）

4月におけるイランの原油輸出量は、3月の日量81万バレルから一転し、日量100万バレル台を回復すると産業筋が英国の通信社に述べた。中国は3月時点で日量37万9,000バレルだったが、4月には日量41万5,000バレルと予測されており、台湾も原油輸入を再開すると見られている。3月20日～21日には、中国船籍の200万バレル積みの大型タンカーが積出基地であるハールグ島に停泊しているとされており、中国政府が自国のタンカーに保険を付保するシステムを有したとなれば、中国はイラン産原油の輸入量をより増加させることが出来るだろう。

7. イランからイラクへのガス供給（4月6日付ハムシャフリー紙）

イランとイラクは、本年〔ヒジュラ太陽暦1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）〕夏より、イランからイラクに4,000万立方メートルのガスを供給する新たな契約を締結したと、オウジー石油省次官兼国営ガス会社総裁が説明した。

8. 天然ガス輸出に関する石油省次官発言（4月8日付イラン・ニュース紙）

イランはガス収入を石油収入の代替とすることを計画していると、オウジー石油省次官兼国営ガス会社総裁が述べている。「イランは現在、トルコ向けに30億米ドル以上の天然ガス輸出を行っている。また、トルコとイラクの2カ国との間で新たなガス供給契約を締結した。現在、日量3,500立方メートルを輸出しているが、これを2014年3月までに1億立方メートルにまで増加させる」と語った。

9. 航空会社に課されるジェット燃料代（4月10日付シャルグ紙）

国営石油精製販売会社（NIOPDC）総裁は、航空会社に課されるジェット燃料代に関し、現在は10日に1度の頻度で支払いを行わなければならない、国内便向けは4,000リヤール／リットル、国際便向けは7,000リヤール／リットルとなっていると述べた上で、イラン航空には1兆8,800億リヤール、アーセマーン航空には1兆2,100億リヤール、マーハーン航空には9,200リヤールの未払い金があることを明らかにした。

10. OPEC 事務局長選挙（4月10日付ハムシャフリー紙）

エクアドルに続き、サウジアラビアも OPEC 事務局長選挙への出馬を辞退した。これにより、イランとイラクが事務局長の座を争うこととなった。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799